



藤が丘だより

第 2 期 No. 1



2026年4月5日イースター礼拝

～自己紹介～ 浅野直樹牧師

みなさん、こんにちは。この4月から佐藤先生の後任として藤が丘教会の牧師となりました浅野直樹（Jr.）です。今回は簡単な自己紹介をしたいと思います。

私は1967年8月3日に岐阜県大垣市で生まれました。といっても、父を早くに亡く

しましたので、大垣の思い出も、父の面影もありません。母は3歳の私を連れて再婚しましたので、15歳になるまで、愛知県の八開村（現在は愛西市）で育ちました。木曽川沿いにあるのどかなところですよ。

日本福音ルーテル藤が丘教会 牧師 浅野直樹

〒227-0043 横浜市青葉区藤が丘 2-31-21 Tel 045-973-4749

ちなみに、私には身近な人で同姓同名の人が二人おられます。お一人は、ご存知の通り「浅野直樹 Sr.」牧師です。これまたちなみに、Sr.牧師とは干支（ひつじ年）も星座（獅子座）も同じ、血液型だけは違うようです。おそらく、二人を占ってもらうとほとんど同じ結果が出ると思いますが、二人は全く似ていません。そういったことから、占いていい加減ですよ。

もう一人は「兄」です。私には4つ違いの兄がいますが、こちらは義父の連れ子です。名前を「直樹」と言います。もうお分かりですよ。義父と母とが再婚したことによって、同姓同名の兄弟が戸籍上誕生したことになります。ということで、私は物心着く頃から、「石川浩二」と名乗っていました。途中までは、これが「私の名前」と思って過ごしてきました。昔はいい加減というか、おおかというか、学校の書類も通知表もみんな「石川浩二」という通称で通っていました。

そんなちょっと変わった家庭で育った訳です。しかも、再婚当初から父母は折り合いが悪く、父からは体罰を、母からはストレス発散を受けてきましたので、思春期には相当歪んでいたと思います。親を殺したい、と思うほどに。そんな親を憎み、将来に悲観し、自殺願望ばかりを抱えていた私は、転機を迎えます。たまたま社会の授業で取り上げられたキリスト教に触れたからです。

先ほども記しましたように、私は相当田舎で育ちましたので、そういった洒落たものは身近にありませんでした。家には仏壇と神棚があり、両親とも伴侶を亡くしていますので、仏壇で手を合わせることも多く、地域の子ども会ではお寺でお経の勉強をつてな感じでした。その授業で語られた「キリスト教は愛の宗教」という言葉に俄然興味が湧いて、近く（と言っても自転車で50分程度の距離ですが）の教会を訪ねたのが、私とキリスト教・イエスさまとの出会いとなりました。

その後も紆余曲折がありましたが（とても誌面では書ききれませんが）、20歳の時に洗礼を受けました。その後、大学生活に挫折し、神学校に行くことになり、29歳の時に、最初の任地である名古屋市天白区にありまず同盟福音天白キリスト教会の副牧師となります。2年後、同じ教団の芥見（あくたみ）キリスト教会（岐阜市）に移ることになり、そこで長男の病気が発覚します。しかし、治療の甲斐なく長男は亡くなり、その心労、牧師としての脆弱さ、失敗、壁等々の理由で、一度現場を離れることを決心し、ルーテル学院大学のキリスト教学科に編入学したことがご縁となりました。

当時の神学校長の江藤先生から勧められ、ルーテル神学校に編入学し、接手を受けたのが、2011年のことです。そこから最初の任地、小鹿教会と清水教会（共に静岡市）に5年、むさしの教会に7年、甲府教会と諏訪教会に3年と過ごした後、縁あって（神さまのお導き）藤が丘教会に来ることになりました。

いや〜、思ったよりも字数が多くなってしまいましたが、人生を語り出したらキリがないですね。まっ、そんな失敗だらけの「私」です。でも、今ではそれが私の財産になっていると思っています。



いろんなタイプの牧師がいますが、またいい訳ですし、いる必要があると思いますが、ではなぜ「この私」が牧師として召されたのだらうと考えた時、これらの経験・体験・失敗も含めて「私だから」神さまはこの私を用いようとされたのかな、と思いました。だから大いに、この「私」を用いようと思っています。誌面上、とても語り尽くせませんので、興味があったら聞いてください。

どうぞ、これからもよろしく願いいたします。

●牧師就任式

5 月 17 日の礼拝に内藤新吾牧師（東教区伝道奉仕部長）が出席され、浅野直樹先生の藤が丘・小田原教会への牧師就任式が執り行われました。内藤先生は、神学生時代に藤が丘教会で教会研修をお受けになり、現在は稔台教会と小岩教会の主任牧師でいらっしゃいます。藤が丘教会にゆかりのあるかたですね。この日は、藤が丘教会におられる世田谷新町教会時代からの教会員に向けた、栗原先生からのメッセージもご紹介いただきました。

礼拝後には内藤・浅野両先生を囲んで女性会による昼食会がもたれました。



～会員紹介～ *上*朗さん（川崎市麻生区在住）

このたび、入会させていただくにあたり、自己紹介を申し上げます。私は現在、神奈川に住み、大学で社会福祉やソーシャルワークに関わる仕事をしております。私の母は、熊本の日本福音ルーテル健軍教会の会員でした。



母は長年、教会を大切な拠り所として信仰生活を送っていましたが、高齢となったことから、晩年は私の住む神奈川へ呼び寄せ、一

緒に生活をしておりました。母の看取りの時期には、前任の佐藤牧師が親身に寄り添ってくださり、本人だけでなく家族である私自身も大きな慰めと支えをいただきました。その温かな関わりに、今でも深く感謝しております。母が教会に通えなくなってからは、「母の代わりに」という思いで礼拝に参加するようになりました。しかし実際に通う中で、教会の皆さまに温かい言葉、声をかけてくださったことが、私にとって大きな喜びとなりました。礼拝の時間を共に過ごす中で、自然と洗礼を受ける意思へと導かれました。

また、私は長年、昭和医科大学に勤務していましたので、この地域には深い馴染みがあります。仕事を通して長く関わってきたこの土地に、今度は教会を通して再び通うことができることを、とても嬉しく感じております。

まだ、未熟ではありますが、これから皆さまと共に礼拝を守り、信仰の歩みを続けていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

●女性会だより

5 月 17 日 参加者 11 名

司会、祈り 照井姉

讃美歌 402 番

1 聖書の学び

ヨハネによる福音書 20 章 24 節～29 節

2 女性会例会

① 4 月 11 日 春の会長会&信徒の集い（むさしの教会）報告。当教会参加者は 4 名

② あり方検討会委員会最終報告

③ 会計報告 2026 年度 申請人数の確認

④ 藤が丘女性会としての方向性を今後話し合う

⑤ 聖書月間委員会より、今年度の聖書月間は女性会の聖書の学びとコラボして開催を提案し、賛同を得た。講師は浅野先生。

日程については今後調達する。

次回は 6 月 21 日

●教会学校報告

藤が丘第二公園でイースターを祝い、新しい仲間を迎えた教会学校は、4 月からトーンチャイムで新曲（重奏）に挑戦したり、母の日には工作（右写真：ハートの飾り付き紙ボックス）を楽しんだりしました。5 月の第 5 日曜には、インドネシアから東京科学大学に留学中のアイダンさんをゲストトークに招いてお話を伺う貴重な機会をいただきました。（*野*苑）



●編集後記 再刊に寄せて

浅野先生をお迎えし、月報刊行も新体制になり隔月刊となりました。寂しく感じられる方もいらっしゃるでしょうが、書き手不足（年々、執筆依頼へのお断りが増えています）と同時に皆さまへのご負担を軽減したいとの意向からです。イベントや特集は拡大号でお届けしますので、どうぞご期待ください。なお、月報原稿は随時募集しています！（*木*子）

皆さま、大変お待たせ致しました。6 月から隔月で藤が丘だよりをお届けいたします。ちょっと、紙面も刷新しての 6 月号は浅野牧師の自己紹介から始まります。その他の原稿は？お楽しみに。

藤が丘だよりを読むと「教会の様子がよくわかるわ」と言う声が以前からお聞きしております。

2026 年、月報委員 4 名（昭和美魔女軍団→入山、鈴木（陽）、清野（智）、江越）は知恵を集めながら、新しい藤が丘だよりをお届けすることを話し合っています。また、原稿も大歓迎ですので、よろしくお願い致します。（*越*子）

もうここ数年、月報委員に名を連ねてますが、ただただ委員会の平均年齢を押し上げるのに貢献しているような状態で……。なかなか落ち着いて委員としての働きができず反省してます。新しい先生を迎え、新しい「藤が丘だより」が 6 月号から出発！私も何とかついていきますので、よろしくお願い致します。（*山*子）

レイアウトと校正を担当します。どうぞよろしくお願い致します。

（*ラ*ン*梨・*野*佳*）